

2019形質転換植物デザイン研究拠点 共同利用・共同研究課題一覧(全39件)

	代表研究者	代表研究者所属	研究課題名	課題番号	論文表記 番号
1	梅原 三貴久	東洋大学 生命科学部応用生物科学科	ストリゴラクトン輸送体が欠損したマイクロトムの作出	19基礎A-1	# 1901
2	古本 強	龍谷大学 農学部植物生命科学科	PIF4による低温シグナル伝達経路調節のメカニズム解析	19基礎A-2	# 1902
3	Mike Thomashow	Michigan State Univ	Chromatin-mediated cross talk between long term low temperature responses and immunity	19基礎A-3	# 1903
4	榊原 恵子	立教大学 理学部生命理学科	貧窒素土壌における陸上植物の適応戦略に関する基礎研究	19基礎A-4	# 1904
5	丸山 明子	九州大学 農学研究院	硫黄栄養の感知から硫黄同化系の調節にいたる過程で働く新規情報伝達因子の探索と機能解析	19基礎A-5	# 1905
6	野元 美佳	名古屋大学 遺伝子実験施設	サリチル酸シグナルの主要制御因子であるNPR1が標的とする新規転写因子の探索	19基礎A-6	# 1906
7	竹田 恵美	大阪府立大学 大学院理学系研究科	機能性カロテノイド高生産を可能とする生合成酵素遺伝子機能の検証	19基礎A-7	# 1907
8	佐治 光	国立研究開発法人国立環境研究所 生物・生態系環境センター	植物にオゾン耐性を付与する遺伝子の機能解明	19基礎A-8	# 1908
9	北島 佐紀人	京都工芸繊維大学 応用生物学系	植物の乳液に含まれる機能未知タンパク質群の生体防御機能と育種への利用に関する基礎研究	19基礎A-9	# 1909
10	川勝 泰二	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門	ミヤコグサ根粒を用いた有用物質生産プラットフォーム開発に向けた基盤研究	19基礎A-10	# 1910
11	工藤 洋	京都大学 生態学研究センター	アブラナ科多年生草本の春化応答の比較分子生態学	19基礎A-11	# 1911
12	鈴木 義人	茨城大学 農学部	サツマイモ育種用接ぎ木台であるキダチアサガオの特性解析	19実験A-12	# 1912
13	Cornelius Barry	Department of Horticulture, Michigan State University	Utilizing the Tsukuba TILLING platform to investigate the evolution of catalytic promiscuity of UDP-Glucosyltransferases	19実験A-13	# 1913
14	早間 良輔	国際基督教大学 自然科学デパートメント	アンチフロリゲンによるトマトの花成・結実期をコントロールする遺伝的機構の解明	19実験A-14	# 1914
15	伊 永根	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構	トマト果実への糖転流様式の解明のための形質転換交配系統の作出	19実験A-15	# 1915
16	金岡 雅浩	名古屋大学 大学院理学研究科	トマトの受精に関わる遺伝子の探索	19実験A-16	# 1916
17	伊藤 瑛海	国際基督教大学 自然科学デパートメント	トマト形態形成とストレス応答に対するRAB7遺伝子の役割の解明	19実験A-17	# 1917
18	久保 健一	東京大学 農学生命科学研究科	植物の生殖関連形質の制御に関わる遺伝子の機能解析	19形技A-18	# 1918
19	吉田 聡子	奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構	ハマウツボ科寄生植物の安定的形質転換法の確立	19形技A-19	# 1919
20	加藤 幸成	東北大学 大学院医学系研究科	植物におけるタンパク質大量発現「つくばシステム」を用いたタグ抗体生産技術の確立	19形技A-20	# 1920
21	野村 崇人	宇都宮大学 バイオサイエンス教育研究センター	ストリゴラクトン大量発現系の確立による根寄生雑草の駆除	19形技A-21	# 1921
22	佐々木 伸大	東洋大学 食環境科学部食環境科学科	ベタレイン色素合成経路の導入によるアサガオの新規花色の分子育種	19形技A-22	# 1922

23	本橋 令子	静岡大学 学術院農学領域	遺伝子組換えによるジャトロファの種子大型化	19形質A-23	# 1923
24	児嶋 長次郎	横浜国立大学 大学院工学研究院	成長相転換制御化合物によるジャガイモ収量増大への試み	19形質A-24	# 1924
25	坂本 悠	長崎県農林技術開発センター	パレイショ近縁種からの環境ストレス耐性形質導入	19形質A-25	# 1925
26	田岡 健一郎	横浜国立大学 木原生物学研究所	フロリゲンによるジャガイモ塊茎形成制御の分子機構の解析	19形質A-26	# 1926
27	中野 雄司	京都大学 大学院生命科学研究所	ブラスノステロイド情報伝達遺伝子形質転換サトウキビのベトナム網室及び圃場における試験栽培	19形質A-27	# 1927
28	出村 拓	奈良先端科学技術大学院大学	遺伝子組換えポプラの隔離ほ場試験	19形質A-28	# 1928
29	房 相佑	宇都宮大学 農学部	遺伝子組換えナタネの遺伝子拡散リスク評価に用いるマーカープラントの作出	19リスクA-29	# 1929
30	間 竜太郎	農業・食品産業技術総合研究機構 野菜花き研究部門	遺伝子組換え青色キクの実用化に向けた生物多様性影響評価における形質転換植物評価技術に関する研究	19リスクA-30	# 1930
31	中嶋 信美	国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター	生物多様性影響評価の基盤となるアサガオゲノム中のT-DNA配列の解析手法の開発	19リスクA-31	# 1931
32	齋藤 陽子	北海道大学 農学研究院	ゲノム編集技術に関する認知度推移と受容意向の変化	19情報C-32	# 1932
33	門田 康弘	理化学研究所 環境資源科学研究センター	植物によるアグロバクテリウム認識システムを解明する	19形質A-33	# 1933
34	内山 愉太	名古屋大学大学院 環境学研究科	遺伝資源保全と共有財産としての利活用に関する制度設計・権利と共有の相克と地理的表示保護	19情報C-34	# 1934
35	西川 芳昭	龍谷大学 経済学部	ITPGR-FA「農民の権利」概念の生命科学研究者による理解促進のための国際的議論の整理	19情報C-35	# 1935
36	小林 括平	愛媛大学大学院 農学研究科	高温耐性をもつ接ぎ木トマトの特性解析	19実験B-36	# 1936
37	山口 富子	国際基督教大学	効果的なコミュニケーション活動のための情報基盤整備	19情報C-37	# 1937
38	小林 邦彦	総合地球環境学研究所	条約実施と科学的知見の相互作用-遺伝資源のデジタル配列情報に関する交渉を事例に-	19情報A-38	# 1938
39	前田 恵	岡山大学大学院 環境生命科学研究所	CRISPR-CAS9による糖鎖遊離酵素遺伝子欠損トマトの構築	19実験A-39	# 1939